

ハービケア ファイングラインド (微粉末) Herbicare FINE GRIND 使用説明書

著者: Angela Lennox, DVM Dipl. ABVP—Avian and Exotic Animal Clinic of Indianapolis, Marla Lichtenberger, DVM, DACVECC

ハービケア・ファイングラインドを細い経鼻カテーテルで使用する際のコツ

ハービケア・ファイングラインドは5フレンチという細い経鼻胃カテーテルでも使用する事が出来ます。小ゲージ使用時のコツをまとめましたので、ご参照下さい。

1. 患畜に使用する前に利用したいチューブとそれに見合ったサイズのシリンジ (下記参照) で通過試験を行ってください。その後温水をチューブの中に通し、チューブの十分な洗浄に必要な温水量を決定します。
2. 使用チューブが細いほど小さなシリンジを使う必要があります。細いカテーテルに大きなシリンジを使用すると圧が上がらず、製品の流入が困難または不可となります。5フレンチのカテーテルには3mlシリンジまで、3、5フレンチのカテーテルには1mlのシリンジまでに制限すること。もう少し太いカテーテルなら通常10mlか、それ以上のシリンジに対応可能です。
3. ゆっくりと、かつ一定の圧で流入します。急いで行くと圧が上がってしまうので、製品の流入が困難または不可となります。
4. 製品は定法に従って混ぜます。ハービケア ファイングラインドは適切なサイズのシリンジの使用であれば細いチューブを通す時も特に薄める必要はありません。
5. 給餌後はその都度清潔な温水で洗い流します。チューブ内を完全にすすぐのに必要な量を使用してください。



ハービケア・ファイングラインド1に対して2~3の温水で混ぜ合わせます。



経鼻胃カテーテルでハービケア・ファイングラインドのみを栄養源として投与されて3日目の試験患畜の便。

うさぎの経鼻胃カテーテル装着手順

1. 処置に鎮静が必要な患畜もいます。著者らはオピオイドとベンゾジアゼピン (例: プレノルフィン、またはブトルファノールとミダゾラム) の組み合わせを患畜の不安やストレス軽減のため推奨しています。局所麻酔 (2%リドカインジェルまたは点眼薬) を鼻腔に垂らします。
2. 患畜のサイズに従ってチューブのサイズを選択します。通常5-8Fr. になります。アーガイルチューブは曲がりやすく胃酸による劣化に耐えることされています。
3. 挿入するチューブは鼻先から最後肋骨までの距離を測定し印をつけます。
4. 患畜の怪我を防ぐためうさぎは注意深く保定します。頭を腹側に屈曲させます。これによりチューブが気管ではなく食道に入りやすくなります。
5. 水溶性の潤滑剤もしくは2%リドカインジェルをチューブ先端に塗布し、優しく鼻孔に挿入します。腹側中央を狙い腹鼻道へ。正しい位置に挿入できると多少の抵抗が感じられます。前述で印を付けた位置までチューブを進め、胃に到達させます。
6. チューブが正しい位置に装着されたかどうかはシリンジでの胃内容物の吸引によって確認します。放射線不透過性のチューブならレントゲンによっても確認することができます。
7. チューブは鼻平面と頭頂部で縫合します。ほとんどのうさぎがエリザベスカラーを要せず経鼻胃カテーテルによく耐えます。



5 Fr. のアーガイル経鼻胃カテーテルの装着



経鼻胃カテーテルが設置され鼻翼と耳の間の皮膚に縫合されたところ。うさぎは通常カテーテルの留置によく耐えます。



モルモットに3、5 Fr. の経鼻胃カテーテルを装着。小さな患畜へのチューブの留置も注意深いケアにより可能です。



カメへの強制給餌